



学校だより

～学力向上特別号～

令和6年11月27日
 松戸市立上本郷小学校
 校長 浦上 和茂

朝夕に寒さが感じられる季節となりました。保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、1学期に実施しました2～5年生の学力テスト及び6年生の「全国学力・学習状況調査」の分析結果についてお知らせします。本校では、分析をもとに指導の工夫・改善はもとより学習活動全般の一層の充実に努めています。

ご家庭におかれましても、今後の学習の参考にしていただければと思います。

学年	結果と傾向 及び 対策や取組
2年	<p>国語は、全国平均を上回っていますが、領域別に見ると「話す・聞く」が全国平均を下回っています。授業でも身近なことや経験したことなどから話題を決めて話したり、聞いたりする場を設定しています。また、「読む」「書く」と関連づけて様々な文章を読み進めています。読書時間を確保していますが、好きな本だけでなく読み物などにも触れるよう声をかけています。</p> <p>算数は、全国平均をやや下回っています。特に、ひき算の文章題「どちらがいくつ多いか」では、「2つの事柄を理解できていない」「問題の処理の方法がわからない」「差の概念があいまい」などの課題があります。具体物を使い実際に手を動かし、数に対する意識を高めて立式できるようにしています。図形でも具体物に触れることで、立体をイメージさせています。</p>
3年	<p>国語、算数ともに全国平均をやや下回っています。</p> <p>国語のテストに限らず、文章を読まずに問題を解いている姿が見られます。授業の中で、文章を一つ一つ丁寧に読むように声をかけています。引き続き、音読に力を入れ、文章を読むことに慣れさせていきます。また、読書の時間もしっかり確保していきます。</p> <p>算数では、授業中や家庭学習などで計算の復習のプリントに取り組ませています。また、「測定」については、具体物を用いて量の感覚を身につけさせています。算数教室なども活用し基礎学力の定着を図っています。</p>
4年	<p>国語、算数ともに全国平均を上回っています。</p> <p>国語では、特に「話す・聞く」が大きく上回っていますが、記述式の問題の正答率は低くなっています。自分の考えを文章で書き表すことが苦手、自信がもてないことが考えられます。授業中に自分の考えを書くことを多く取り入れ、書いた文章を読み合っってよい点や改善点を確認しています。今後は時数制限を設けて設問に答えることも取り入れていきます。</p> <p>算数では、特に計算がよくできていますが、文章題の正答率は低い傾向にあります。問題文の意味が理解できておらず、正答を導き出せないと考えられます。授業中に問題文の意味を確認したり、解き方を説明したりする活動を丁寧に行っています。また、周囲と教え合う活動を多く取り入れていきます。</p>
5年	<p>国語、算数ともに全国平均を上回っています。</p> <p>国語では、授業中に「書く」活動を多く取り入れていきます。また、国語だけでなく他教科においても「書く」活動を取り入れ、自分の考えを整理し深めていけるよう取り組んでいます。</p> <p>算数では、「図形」の領域が全国平均を下回っています。論理的に考えることに苦手な意識があるように感じられます。一人一人の理解度等、実態を把握した上で、授業計画を立て実践しています。授業中や家庭学習でくり返し練習し、定着できるように努めています。</p>
6年	<p>国語、算数ともに、全国と千葉県の前年正答率を上回っています。</p> <p>国語の記述式の問題については、物語文を読み、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりすることに課題が見られました。60～100文字で記述する条件が設定されていることもあり、無回答率も目立ちました。国語の学習のみならず、他教科とも関連づけて進め、「書く」活動を増やしています。</p> <p>算数の「図形」の領域の前年正答率が全国と千葉県を大きく上回っていますが、「データの活用」については他と比べるとやや低い傾向にあります。データを言葉と数を使って表現できるように取り組んでいます。また、T2教員を活用したり算数教室を実施したりし、基礎基本の学力の定着を図っています。</p>

学校では、これからも児童一人一人を大切にしたい指導をしていきます。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。